

SimpleSoundPlayer(演劇効果音プレイヤー)の説明書

概要

【ソフト名】効果音プレイヤー SimpleSoundPlayer 2014

【ソフトの概要】

あらかじめ登録したサウンドファイルをキーまたはマウスで鳴らすソフトです。同時再生できるのでBGMや効果音を重ねることができます(たとえばBGM+嵐+雷など)。

作者が勤務する学校の文化祭で劇の効果音やBGMをタイミングよくならすために作成しました。用途はきわめて限定的ですが、毎年大活躍しています。

従来版はWindowsXPまでにしか対応していませんでしたが、Windows7や8でも動作するように修正しました。サウンドファイルもほとんどのサウンドファイルを再生できるようになりました。(以前はwavとmidのみ)

【作者】前田 泰男 (E-mail cxc00420@nifty.com)

【取り扱い種別】フリーソフト

【動作環境】Windows 8 / 7 / Vista / XP で動作確認 (32 bit / 64 bit)

※ XP では VisualBasic v6 のランタイムが必要 (Vista以降はOSに標準搭載)

【対応サウンドファイル】wav mp3 wma mid で動作確認

※Windowsのメディアプレイヤーで再生可能なファイルなら再生可能なはず
同時再生可 38ファイルまで登録可

インストール・アンインストール

(1) インストール

適当なフォルダを作り、その中に Simple Sound Player 2014 を入れます。

※次のような運用を前提に設計しています。

① 劇ごとのUSBでメモリ運用

すべてをUSBメモリに入れておいて、教室、体育館、特別教室など、練習するところにそれぞれPCを用意しておき、各会場のPCにUSBを挿す。

② 劇ごとのパソコンで運用

劇ごとにノートパソコンを用意し、各チームにノートパソコンを配る。各練習会場にPCを持って移動する。

(2) アンインストール

フォルダごと削除するだけです。

※レジストリは使用していません。設定ファイルはインストールしたフォルダ内に作られます。

使用方法

(1) 準備から実行まで

①実行ファイルと同じフォルダに サウンドファイルを入れます。

②Simple Sound Player 2014を起動します。(詳しい操作方法は次ページ参照)

③ドラッグ&ドロップでサウンドファイルを登録し、Playボタンで音を鳴らす。

④終了すると、自動的に設定ファイルが作られます。

※設定ファイルは選択できません。複数の劇や場面でサウンドを使い分けるときは、それぞれにフォルダを用意し、その中に実行ファイルとサウンドを入れてください。

(2)操作方法

